

SBI ART AUCTION

2023 Look Back

2023年レポート

2024年1月19日

SBIアートオークション株式会社

Table of Contents

目次

- 01. Introduction** はじめに
- 02. Summary** サマリー
- 03. 2023 auction achievements** 開催概要と実績
- 04. Participants' trends** 参加者動向
 - i. Inquiries** 問合せ状況
 - ii. Return to offline events** オフラインイベントへの回帰
 - iii. Successful bidders by region** 地域別で見る落札
 - iv. Successful bidders by age** 落札者年代別
- 05. Hot topics of 2023** 2023年のホット・トピックス
 - i. Top 3 lots by turnover** 高額落札ランキング
 - ii. Contemporaneity in SBI's lineup** ラインナップの同時代性
 - iii. First-timer at SBI** 初出品作家
 - iv. 20th century artwork sales** 20世紀美術の存在感（1945-1975年）
- 06. Auction schedule for H1 of 2024** 2024年上半期スケジュール
- 07. Appendix** 付録
 - i. Top 15 artists born after 1945 by turnover**
コンテンポラリーアーティストの2023年落札結果TOP15
 - ii. Top 15 ultra-contemporary artists by turnover**
ウルトラコンテンポラリーアーティストの2023年落札結果TOP15



01. Introduction

はじめに

コロナ禍で普及した新しい生活様式を背景に爆発的な高まりを見せたアート蒐集への熱と、その熱に呼応する形でアートマーケットに流入した投機的資金により絶頂期を迎えた2022年に対し、2023年のアートマーケットは、インフレや高金利、国際情勢の不安定化の加速による世界介在の不確実性の高まりを反映し、全世界的に比較的落ち着いた市況となりました。

世界のアートマーケットの大きな流れに準ずる形で、日本のアートマーケットも2023年半ば頃から一服感が見えましたが、当社は変わらず、真に価値のあるものを求める皆様のご期待に応えるべく選りすぐりの作品のご紹介に邁進し、2023年の最後を明るい兆しの中に終えることができました。

本レポートは、2023年に当社が開催したオークションについて、いくつかの切り口からその概観を提示するものです。レポートを通じて、日本のアートマーケットの面白さをひろくお伝えできたら幸いです。

02. Summary

サマリー

- 計7回のオークションで落札総額は52.0億円、オークション事業開始以来歴代2位の成績。不安定な市況の中にあって、高水準の平均落札率を維持。
- セール形式を問わず昨年並みの参加者数を記録。落札者の国際性の高さ、年代の幅広さも健在。
- 揺るぎない存在感を示す草間・村上・奈良の3作家に留まらず、日本の美術史を形作ってきた作品から、同時代の作品をひろくご紹介し、好評を博しました。
- 2024年最初のセールは、弊社初の試みとして、下見会とオークションの土日開催。今後もトレンドセッターとして常に挑戦を続けて参ります。



03. 2023 auction achievements

開催概要と実績

開催日	ロット数	落札総額	落札率	下限からの伸び率
1月27-28日	525	11.4億円	93.9%	198.4%
3月11日	86	7.9億円	97.7%	219.3%
4月14-15日	454	2.9億円	90.3%	148.5%
5月26-27日	317	11.0億円	91.6%	166.4%
7月14-15日	385	6.3億円	88.6%	149.8%
9月15-16日	474	2.0億円	85.7%	175.8%
10月27-28日	300	10.7億円	91.0%	198.9%
計7回	出品総数 2,541	落札総額 52.0億円	平均落札率 93.0%	平均伸び率 182.3%
前年比 (2022年)	109.5%	75.0%	96.1%	74.3%

2023年、当社は計7回のオークションを開催し、落札総額は52.0億円を記録、市況の影響を受けて最高益を記録した前年には及ばないものの、オークション事業を始めた2012年以来、歴代2位の成績を収めました。

平均落札率も前年をやや下回ったものの、国内外のオークション取引と比較しても非常に高い水準を維持しており、当社の購買顧客の層の厚さとラインナップへの継続的な関心の高さが伺えます。

出品総数がほぼ同数である2021年（2,546点）と比較すると、落札総額は6.5億円の増加、作品1点当たりの落札単価は116.7%の伸びを示しています。

04. Participants' trends

i. Inquiries

問合せ状況

市況の落ち着いた顕れとして、新規参加者の1セール当たりの平均比率は前年から減少（37.5%→30.8%）しましたが、セール参加者数自体は延べ4,899名で2022年とほぼ同じ水準（前年比98.6%）となりました。

オークション出品作品に対する総問合せ数（*）は45,386件で、7割が日本、3割が海外からのお問合せとなりました。特に注目が集まったのは草間彌生、村上隆、奈良美智ら、日本のコンテンポラリーアートを代表するアーティストですが、地域別では問合せの傾向が異なる様子が伺えます。

地域別問合せ数TOP10 (**)

	日本	アジア（日本除く）	欧州	北米
1	草間 彌生	草間 彌生	村上 隆	村上 隆
2	村上 隆	村上 隆	草間 彌生	アンディ・ウォーホル
3	奈良 美智	奈良 美智	アンディ・ウォーホル	草間 彌生
4	KYNE	カウズ	山田 正亮	ダミアン・ハースト
5	カウズ	李 禹煥	ダミアン・ハースト	カウズ
6	バックサイドワークス	ロッカク アヤコ	デイヴィッド・ホックニー	デイヴィッド・ホックニー
7	李 禹煥	花井 祐介	奈良 美智	バックサイドワークス
8	アンディ・ウォーホル	KYNE	クロード・ヴィアラ	エドガー・プランズ
9	ミスター・ドゥードゥル	ミスター・ドゥードゥル	カウズ	バンクシー
10	井田 幸昌	谷口 正造	李 禹煥	奈良 美智

* 詳細画像問合せ数のほか、参加申込みの際の入札希望作家の申請状況を含めて集計

** 草間、村上、奈良の頻出作家はそれぞれに色付け、青色は特定の地域のみランクインした作家

04. Participants' trends

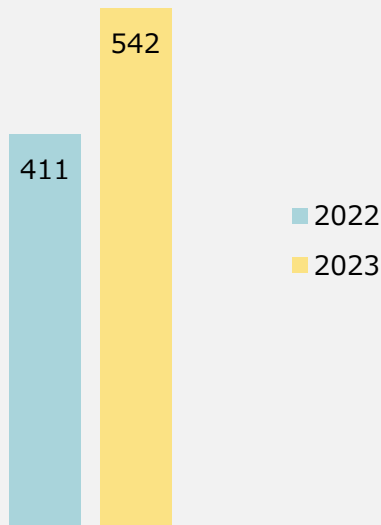
ii. Return to offline events

オフラインイベントへの回帰

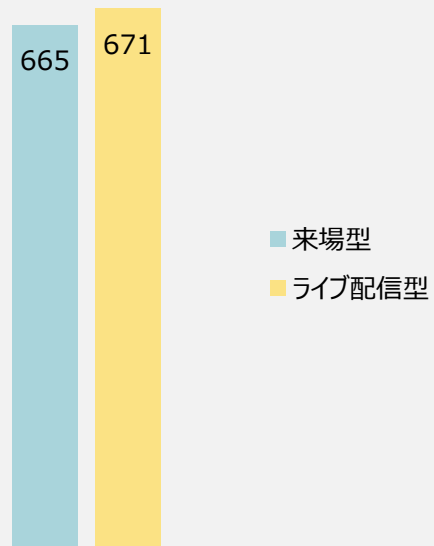
ポストコロナにおけるオフラインイベントへの回帰の世界的な流れに伴い、弊社オークションの下見会の来場者数は、昨年と比較し増加傾向にあります。

一方で、オンラインとオフラインの売買手段としての垣根は取り払われており（*）、一セール当たりの参加者数にセール形式（来場型、ライブ配信型）による大きな差が生じないことから、購入希望者にとって今日、いずれのセール形式も等しく選択肢として捉えられている様子が伺えます。

下見会平均来場者数 (**)



セール形式別参加者数 (***)



* 「Hiscox online art trade report 2023」によると、アートの購入に当たってオンラインとオフラインの間で好みは特段ない（どちらでも変わらない）とするコレクターは半数近くに及んでいる

** 2022年、2023年共に計5回の下見会について集計

*** 2023年に開催した7回のオークションのうち、来場型とライブ配信型のみ、ハイブリッド型を除いた計6回のセールについて集計

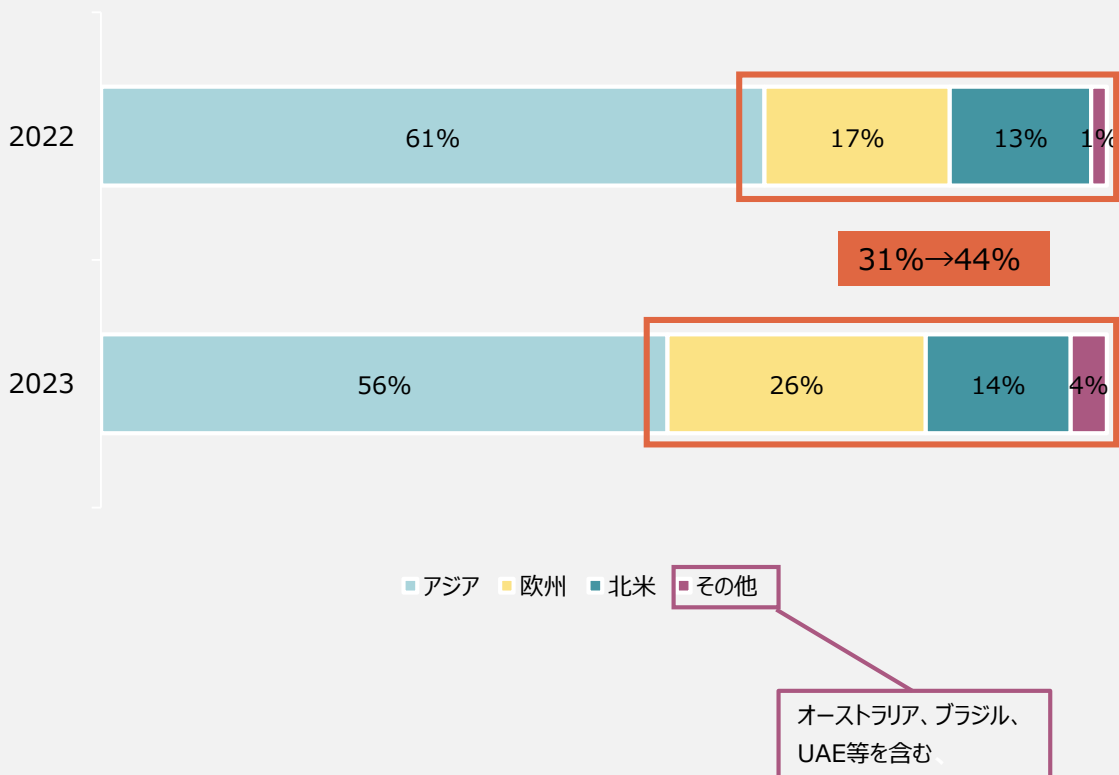
04. Participants' trends

iii. Successful bidders by region

地域別で見る落札者

落札者数は計1,244名で、うち国内から7.5割、海外から2.5割のご落札をいただきました。海外に目を向けると、昨年引き続きアジア圏からの落札が多いものの、2022年と比べてそれ以外の地域圏からの落札の比率が増加しており、高い国際性を誇っています。

海外落札地域別比率



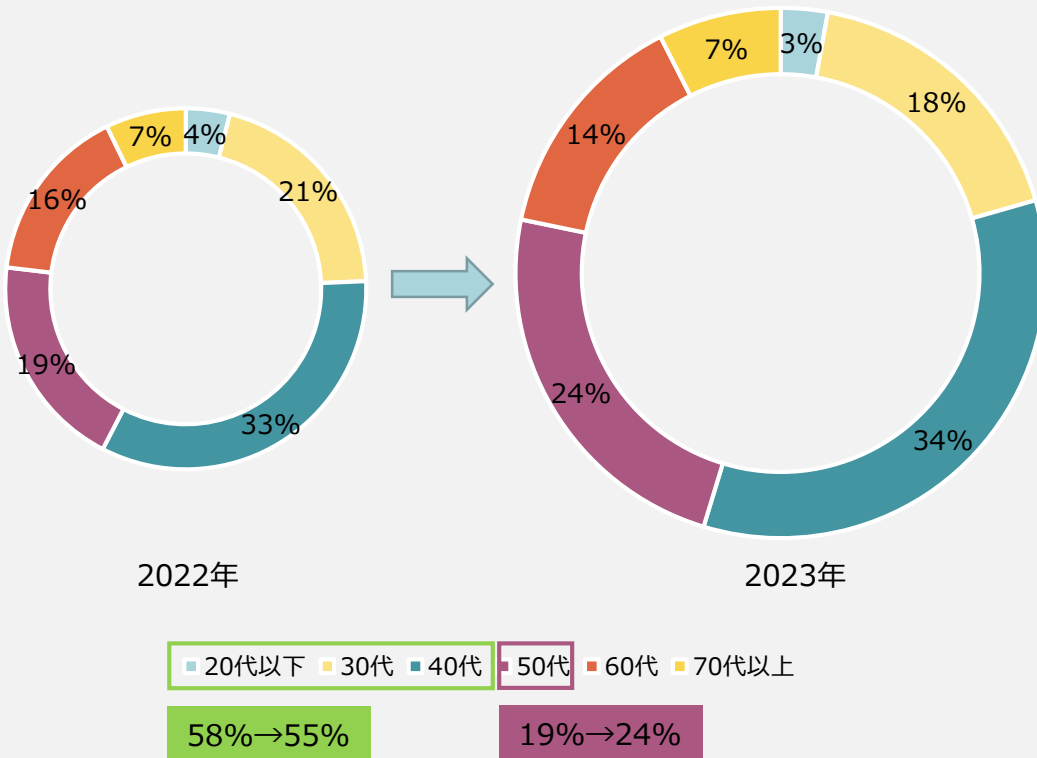
04. Participants' trends

iv. Successful bidders by age

年代別で見る落札者

落札者を年代別で見ると、40代以下が55%を占めており、弊社の顧客層の若さが変わらず際立つものの、昨年と比べ50代の落札者の比率に伸びが見受けられました（19%→24%）。

落札者年代別比率



05. Hot topics of 2023

i. Top 3 lots by turnover

高額落札ランキング

2023年、SBIアートオークションで最も高値で落札されたのは、日本のコンテンポラリーアートのトップランナーとして国内外で高く評価されている草間彌生のアイコンックなかぼちゃの作品で、続く2位も同じく草間のぶどうをモチーフにした作品がランクインしました。3位は具体派の巨匠である白髪一雄の力強い油彩画で、いずれも落札価格は1億円を超える結果となりました。

1

草間 彌生

「かぼちゃ (B.H.T)」

1991年

アクリル、キャンヴァス

1.7億円

(3月セール出品作品)

- 作家がNYから日本に拠点を移し、国内での評価が高まりつつあった時期に制作された、黄色いかぼちゃの作品。草間はこの2年後の1993年に、第45回ヴェネチア・ビエンナーレの日本代表として選出された。

2

草間 彌生

「ぶどう」

1989年

アクリル、キャンヴァス

1.5億円

(1月セール出品作品)

- かぼちゃの他に、蝶やハンドバック、ハイヒール、花、果物など様々なモチーフを描いている草間だが、その中でもぶどうのモチーフは多く制作されている。本作は背景の網目模様もぶどうも発色の良い色彩で描かれ、爽やかに瑞々しい印象である。

3

白髪 一雄

「無題」

c. 1960年

油彩、キャンヴァス

1.1億円

(5月セール出品作品)

- 白髪は、1960年代頃から密教に関心を深め、71年に得度し天台宗の僧侶となった。吉原治良の逝去を機に具体美術協会が解散する頃から、その作品には密教的な妖しさ、濃密な精神性が漂いはじめ、やがて素足に替えてスキーブーツを用いた制作へと移行することとなる。

05. Hot topics of 2023

ii. Contemporaneity in SBI's lineup

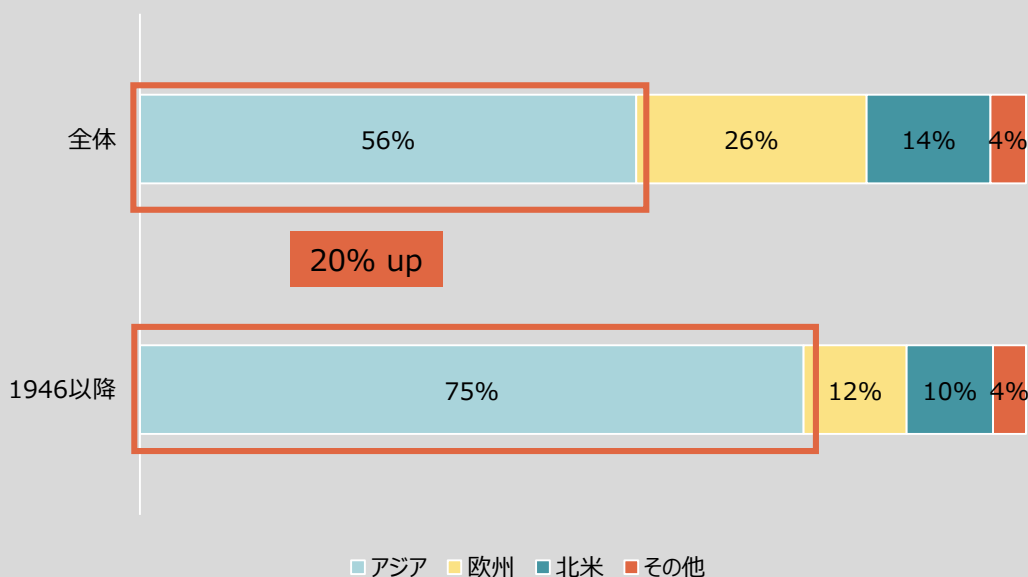
ラインナップの同時代性

弊社は、ラインナップの同時代性に強みを持つオークションハウスとして日本における独自の地位を築いてまいりましたが、近年はその点で国際的にもプレゼンスを発揮しています(*)。

1946年以降の生まれの作家について、2023年には1,813ロット、374作家の作品を取り上げ、落札総額は27.5億円で落札総額全体の52.8%を占める結果となりました。

当該作品の落札は国内からが8割、海外からが2割となり、落札全体と比較すると国内からの引き合いが強い様子が伺えます。また、海外のみに絞ってみると、台湾、香港、韓国をはじめとしたアジアからの落札の割合が全体と比較して大きく増加しており、日本を含めアジア圏のコンテンポラリーアートへの関心の高さが見て取れます。

海外落札地域別比率



* artprice.comの「The 2023 Contemporary Art Market Report」によると、2022年7月から2023年6月の期間において、1946年以降の生まれのアーティストの作品に関するオークションハウスの売上高ランキングで弊社は10位にランクイン、日本のオークションハウスとして唯一無二の地位を示した

05. Hot topics of 2023

iii. First-timer at SBI

2023年に初めて取扱いをしたアーティスト

弊社は、マーケットのトレンドセッターたるべく(＊)、積極的に新しいアートの潮流や動向をご紹介して参りました。2023年、弊社オークションで初めて取扱ったアーティストは110名、うち40歳未満は37名を数えました。40歳未満のアーティストのうち26名が日本人で、海外からは欧米やアジアのほか、ナイジェリア、ガーナ、ウクライナなどのアーティストが名を連ね、国際色豊かなラインナップとなりました。

初登場の中で…

■ 最年少作家

アテンダ・クアドリ・アデバヨ
(1999年生まれ、
ナイジェリア)

「Portrait of Ahmad
Cissé」

2021年

アクリル、木炭、キャンヴァス

196万円

(3月セール出品作品)

- 苦難にも負けず、希望にあふれる強靱な男女をエレガントなポーズで描いた作品。ナイジェリアのラゴスで炭を売って家族を支えた幼少期の体験を基に、木炭を使って人物の肌を繊細に表現し、故郷のシンボルや個人的な物語をアートに昇華させている。

■ 最高落札額

SHUN SUDO
(1977年生まれ、日本)

「ARTdemic 10」

2021年

アクリル、キャンヴァス

748万円

(1月セール出品作品)

- 目を引くポップな色味と、大胆かつ軽やかなストロークで描かれたボタンフラワーはSHUN SUDOの代表的なモチーフの一つ。2枚の布を一つにつなげるボタンに、「自身の絵を通じて誰かと誰かがつながってほしい」という思いが込められている。

■ 最も高い伸び率

谷口 正造
(1990年生まれ、日本)

「SUN GOES DOWN」

2020年

アクリル、ペン、コラージュ、木製パネル

368万円 (18.4倍)

(1月セール出品作品)

- イノセントな世界感で描くペインティング、ドローイング、立体作品はアジアからの関心が非常に高く、特に2021年に奈良美智を中心とした5名のアーティストによるグループ展への参加を皮切りに、国内外へ活躍の幅を拡げている。

*artprice.comの「The 2023 Contemporary Art Market Report」によると、2023年上半期のウルトラコンテンポラリー（40歳未満）のオークション落札結果上位10位のうち2つを当社における取引が占めている

05. Hot topics of 2023

iv. 20th century artwork sales

20世紀美術の存在感 (1945-1975年)

オークションにおける市場動向を語る上で、20世紀美術の存在は欠かせません。その中から、1945年から1975年の間に制作された作品に着目し、落札価格順に以下ご紹介します。

弊社では2023年、具体やコンセプチュアルアートの優品を取扱うことができました。今後もこうした美術史に名を刻む素晴らしいアーティストを多く取り上げて参りたいと考えております。

1

白髪 一雄

「無題」

c.1960年

油彩、キャンヴァス

1.1億円

(5月セール出品作品)

- 白髪は、学生時代に日本画を学び、卒業後に油画に転じた。中心的メンバーを務めた具体美術協会の解散後、他の作家が新しい表現を探る中、白髪はアクション・ペインティングを自分の表現方法として疑わず、この技法を一貫して追求した。

2

河原 温

「24. JAN. 1971
"Today" Series No. 2」

1971年

アクリル、キャンヴァス、1971年1月24日の朝日新聞

4,950万円

(5月セール出品作品)

- コンセプチュアル・アートの第一人者として国際的に高い知名度を誇る河原は、1966年にニューヨークで「Date Painting」を制作し始め、以来、ライフワークとして描き続けた。日付の形式は、その日に作家が滞在している国又は土地の言語や表記の慣習によって異なる。

3

金山 明

「作品」

1958年

塩化ビニール樹脂塗料、パネルにマウントしたビニール

4,830万円

(10月セール出品作品)

- 金山は具体美術協会の初期メンバー。本作の画面にはドリップ状の絵具が重なり、ポロックのような表現主義を感じさせるが、実際はおもちゃの電動車に積んだ絵具が滴り落ちることで描かれており、従来の概念とは異なる「表現」を提示している。

06. Auction schedule for H1 of 2024

2024年上半期のオークションスケジュール

01.27-28

MODERN AND CONTEMPORARY ART

ヒルサイドフォーラム（代官山）

- 初の下見会・オークションの土日同時開催、オークション開催中も一部の作品を展覧
- ルノワールやシャガールなどのモダンアートも出品

03.09

Tokyo Contemporary: Redefined

東京国際フォーラム（有楽町）

- 3度目となるアートフェア東京との同時開催、東南アジアをはじめ海外作家の作品にも注目
- ケータリングカーが東京国際フォーラムのどこかに出現

04.12-13

LIVE STREAM AUCTION

（オンライン配信）

- 春の新生活を彩る2024年最初のライブ配信型セール

05.24-25

MODERN AND CONTEMPORARY ART

ヒルサイドフォーラム（代官山）

- コンテンポラリーをメインに据え、巨匠から新進気鋭の作家まで厳選のラインナップを予定

07. Appendix

i. Top 15 artists born after 1945 by turnover

コンテンポラリーアーティスト(*)の落札価格総額ランキング

	作家名	生まれ年	国籍	ロット数	落札総額
1	奈良 美智	1959	日本	39	261,234,000円
2	ロッカク アヤコ	1982	日本	18	243,857,500円
3	KYNE	1988	日本	31	180,952,500円
4	井田 幸昌	1990	日本	32	134,435,000円
5	村上 隆	1962	日本	185	108,542,750円
6	小松 美羽	1984	日本	27	105,834,500円
7	カウズ	1974	アメリカ	59	82,754,000円
8	ダミアン・ハースト	1965	イギリス	29	80,695,500円
9	ミスター・ドゥードゥル	1994	イギリス	59	75,635,500円
10	花井 祐介	1978	日本	29	62,169,000円
11	加藤 泉	1969	日本	17	60,553,250円
12	バンクシー	1974	イギリス	15	53,808,500円
13	名和 晃平	1975	日本	26	45,787,250円
14	今井 麗	1982	日本	7	45,080,000円
15	キース・ヘリング	1958	アメリカ	3	41,745,000円

*美術品市場オンラインデータベース「artprice.com」におけるコンテンポラリーの定義（「1946年以降の生まれの作家」）に準拠。

07. Appendix

ii. Top 15 ultra-contemporary artists by turnover

ウルトラコンテンポラリーアーティスト(*)の落札価格総額ランキング

	作家名	生まれ年	国籍	ロット数	落札総額
1	KYNE	1988	日本	31	180,952,500円
2	井田 幸昌	1990	日本	32	134,435,000円
3	小松 美羽	1984	日本	27	105,834,500円
4	ミスター・ドゥードゥル	1994	イギリス	59	75,635,500円
5	友沢 こたお	1999	日本	11	40,595,000円
6	谷口 正造	1990	日本	12	24,828,500円
7	江上 越	1994	日本	10	21,378,500円
8	山口 歴	1984	日本	6	20,723,000円
9	TIDE	1984	日本	10	18,745,000円
10	下田 ひかり	1984	日本	12	11,908,250円
11	梅沢 和木	1985	日本	14	11,063,000円
12	愛☆まどんな	1984	日本	15	10,706,500円
13	ロビィ・ドゥウィ・アントノ	1990	インドネシア	9	9,798,000円
14	オートモアイ	1990	日本	17	8,688,250円
15	さいあくなな	1992	日本	14	8,337,500円

*美術品市場オンラインデータベース「artprice.com」におけるウルトラコンテンポラリーの定義（「40歳未満の作家」）に準拠



SBIアートオークション株式会社

135-0063

東京都江東区有明三丁目6番11号

東京ファッションタウンビル東館

T 03-3527-6692

E artauction@sbigroup.co.jp

W www.sbiartauction.co.jp

本レポートに関するお問合せ

広報担当 加来・岡村

SBIアートオークション

オフィシャルInstagramアカウント

